

道路改良の急務

會長

朝鮮總督府
政務總監

水野鍊太郎

道路は吾人が共同生活を營むに當て、此が營養を司る血管の如きものである、去れば斯の血管の健全なると否とは直に國家の經濟に、將た國民生活に波及する所頗る大なるものがある、換言すれば道路の善惡如何は國民の生活問題産業の發達及文化の普及進展に影響すること多大なるは言を俟たないのである。

若し夫れ國家の脈管とも稱すべき道路が充分に改良され、完全に設備されんが、各地方の連絡疏通は益々圓滑なるべきは必然にして、隨て農村の發達進展も愈々顯著なるべきは明白である、道路愈々完全ならば貨物の移動も多々益々頻繁なるべく、

惹いて都市の殷賑繁榮を來すべきは自然の勢である、物資の需要供給が最も圓滑迅速に且つ輕易に行はるゝれば物價は自ら平均され國民生活上の必要品は爲めに低廉に供給され吾人は愈々愉快に安易に且つ満足しつゝ生活し得るのである、國民が常に脅威を感じつゝありし生活上の不安は尠なからず輕減し得るのである。

平時に於ては斯の如く國民の生活を豊富ならしめ、安易ならしむに與て力あるのみならず、一旦有事の時に際しては國防上至大の利便あるは言を俟たないのである、歐州の戰亂に於て佛蘭西が數萬臺の自動車をしてヴェルダン要塞に軍需品と彈藥とを供給し以て彼の堅塞をして有終の美を爲さしめたるも、畢竟完全なる道路があつたからである、故に歐米諸國にては平時は産業發展に資するの目的を以て、戰時には國防上に貢獻せしめんが爲め交通機關の整備と道路の改善に深甚の注意を拂ひ、以て國富民力の増進に努めて居るのである。

交通機關と言へば、鐵道、船舶、自動車の如き其の主要なるものなるが更に陸上に於ては道路の改良設備と河川の修築をも包含し、海上に於ては港灣の修築設備完全ならざれば交通機關の運用全しと言ふことは出來ぬ、而して就中最も主要なるは道路の改良設備に若くものはない。

道路は都會と田舎とを問はず吾人が日常使用する所のものである。自動車、荷車、馬車、人車、自轉車の用に供するは勿論、吾人が日常歩行するに要するもの、交通機關として斯の如く必須なるはないのである。道路の設備如何は、その使用者に重大なる關係あるを以て、道路が交通機關として最大重要のものたるや固よりである。

完全なる輸送は獨り水路或は鐵道の利用を意味するのみならず、完備せる公共道路の利用に存すること勿論である。米國人が完全なる公共道路なき國は宛然指と踵のなき人體の如しと言へるは洵に至言といふ可きである。

顧みて我國道路の現状を觀るに其の不完、不備なること言語同斷と言ふの外はない。

明治維新の際、開國進取の國是一旦定まるや海陸交通機關の整備に努め、其の見るべきもの尠からざるに拘はらず、獨り道路に至りては他の交通機關に比し、今日猶ほ不完全を極めて居る。例へば近く京濱或は阪神間の大都市の現狀に鑑みるも道路網の統一整備を缺くのみならず道幅の狹隘にして其の缺點擧げて數ふるに違ないのである、若し雨雪一たび到らんか泥濘の巷と化し歩行、車行共に難澁を極め、其の困惑名狀することが出來ないのである。而して一旦晴天ならんか即ち疾風砂塵を捲き耳目鼻口を襲ひ、其の不快實に驚くの外ないのである。

帝國の首都として名海外に喧傳せらるゝ東京市にして猶ほ且つ然り、地方に至りては吾人殆ど言ふに忍びざるものがある。全國交通の幹線たる國道にして今猶渡船、賃錢橋等に依るもの六十餘箇所の多きに達し、道幅一間に滿たざる狹隘なる道路、勾配五分の一の急坂あり爲めに人馬の往來に支障あるのみならず、普通の履物にては絶對に往復し得ざるの狀況である。今日自動車、馬車、自轉車の如き交通機關の

發達せる時代に於て、斯の有利なる機關を用ひて我が國道を通りし得ざるが如きは即ち其の實況である。斯の如くにして如何で産業の發達を圖り得べきや、如何にして時間の節約を期し得るや、將た如何にして各自の能率を増進し得るや、斯く考ふる時吾人は道路改良の一日も緩ぶすべからざるを信ずるのである。

三

外國の觀光客が二たび來て我が國道路の意外に不完全なるに喫驚し、失望の嘆聲を發する蓋し尠少でない。米國アウトルック誌上に掲載せられたる我國道路の批評の如き吾人をして將に漸汗背を濡ふす底のものがある、試みに其の一節を抜記せしめ

日本に於ける道路改良の要は言を俟たぬ、若し日本にして道路の改良に意を致さば當に商業上の發達を拔くるのみならず、又社會人文の進歩を援け、世界に冠絶す

と稱せらる自然美を世界に紹介するに至らん。今日の日本には文明國に於て稱するが如き道路なるものは一哩もなしと言ふも過言でない、道路なるものは單に土壤そのものにて成れる交通路に非ず、其の土面を掩ふ所の何等かの設備を要す、而して斯の如きものは日本には一哩もないのである、吾人が未だ日本の地に接せざる以前思へらく、日本は花の國である、小仙境である、此を觀る最も愉快なるものあるべく、最も美なる國なりと聞いたのである、去れば日本に來た目的は此の自然美を賞せんとするも其の一である、而し乍ら日本に上陸して第一看に失望するは都會竝に村落に於ける道路極めて不備粗惡なることである、若し雨雪一たび到らんか歩行者も殆ど通行し得ないのである、殊に吾人外國人の目に奇とする所は日本人が木にて造られし竹馬の如き履物を穿ち居ることである、此の履物を穿き居るは中流以上の階級に屬するものにして更に人力車夫、勞働者、農夫等に至りては跣足若しくは僅に足を掩ふに藁製のものを以てし、此の泥濘海の如き道路を渉るのである。

此の泥濘海の如き道路を修築せんとするや、其の法極めて簡單にして砂礫を以て道路面を掩ふに過ぎない、故に却て歩行者をして不快を感せしむること一通りでないのである、且つ歩道と車道の區別なきを以て愉快に自動車を疾驅せしむることを得ざるのみならず、河川に架したる橋梁たるや脆弱にして自動車の馳驅に堪へざるものあるを以て、一たび勝地を市外に探らんとするも不可能である、又た急勾配の坂道も到る處に是あるを以て自動車を驅ることが出来ないのである、現に斯かる急坂を重荷を曳いて進む労働者あるに至りては吾人外人をして其の勞苦見るに忍びざらしめ、胸を刺すが如く感ぜしむるのである」と。

四

一外人の斯の批評は決して吾人の否認し得ざる我が國現下の道路の實況にして寧ろ我が國民項門の一針として傾聽すべき苦言ではあるまいか。殊に京濱、阪神間に於てすら自動車を利用し得ざるのみならず近く箱根の勝景を探らんとするも道路狹隘

にして自動車を驅ることが出来ないのである。又東京日光間の如き僅に數時間に
て達し得るに拘らず其の間には自動車の重量に耐ゆるが如き橋梁なきが故に同じく
自動車を馳驅することが出来ない。隨て指顧の間に在て自然美や人工美を極めたる
美術の淵源とも言ふべき日光の景勝をすら外人をして自由に賞せしむることの出来
ないのは返す々々も遺憾千萬と言はねばならぬ。

米國に於て最美にして且つ最も完全を極めたる Columbia river highway と對照し
たならば等しく文明の國と稱しながら彼我同一の談ではない、唯だ耻づるの外ない
のである、此の道路は米國ポートランドに於ける有名なる自動車道路にして坦々砥
の如く、自動車を馳驅すれば一日數百哩を旅行し得るのである、斯の如き善美を極
めたる道路を有する米人が一たび日本に來て其の惡路に驚き且つ失望を極むる洵に
故なしとせないのではない。

等しく五大強國の一に位し、文物施設總ての點に於て進歩せりと誇稱し乍ら、然かも東亞の平和を双肩に擔ふ、天晴れ大帝國なりと自信する我が國の道路が動もすれば南洋ジャワ諸島のそれにも劣ると言ふに至りては眞に國辱と言ふべきではないか。更に一步を進めて考ふれば、單に國辱とか美觀とか言ふが如き表面的の問題ではない、實際國民經濟の上より觀るも現在の如き惡道路の爲めに非常に高價なる生活費を負擔して居るのである、如何に國民が惡道路の爲めに過大なる損害と負擔とを受けつゝあるかを證せんが爲めに數字を以て説明を與へて見よう。

最近の調査によれば、東京市及び接續の郊外に於ける一ヶ月間に於ける荷物發着量は七百萬噸に達するのである、此の荷物は日々吾人の生活資料たる米麥其の他の雜貨及び薪炭、魚類等を初め其の他一切生活上必須の物資である、此等の物資は吾人個々の家庭に輸入され或は輸出さるゝものにして、若し此等の物資が日々東京市の道路を經由すること一日一哩半とすれば其の總噸數、千五十萬噸となるのである、

而て東京市内の道路の状態に依れば、荷車一臺の積載量約一噸にして其の輸送里は一日に約三里を超ゆることが出来ない、而して此の賃金を平均四圓五十錢とすれば一噸哩の輸送料六十錢となる故に一ケ年總輸送費は六百三十萬圓に達するのである若し此道路を改善し、荷車の輸送方法を便にするときは此有效運搬距離は四里になる、然る時は其の一噸哩の輸送費は四十五錢に減少するのである、隨て此の總運送費は一ケ年四百七十二萬五千圓にて足るべく、即ち現在の輸送費に比し百五十七萬五千圓を節約し得ることになる。

自動車、自轉車、荷車等は陸上に於ける主要なる輸送機關なるが現在の如き惡道路のために其の維持費修繕費を要すること頗る多大なるを免れぬ、即ち耐久力が甚だ乏しいのである、今其の耐久力に就て研究したる所に依れば假に東京市内に於ける自動車の數を二千五百臺とし、護謨輪一臺の價三百圓とすれば一ケ年百三十五萬圓の維持費を要し、其の他自動車、荷車、小車、人力車等の維持費は毎年三百三十九

萬八千圓の鉅額に達するのである、此を外國の例に徴するに此等諸車の保存期限は道路だに完全なるときは保存期限猶ほ五割を延長し得るのである、斯くして保存期限を延長するときは其の維持費及修繕費は二百二十六萬五千圓に減じ得ることになる、以上の綱目に依り節約し得る所は年に三百七十三萬圓の鉅額に達するのである、而して此鉅費は單に輸送費と諸車の修繕費の節約より得たる計算なるが此丈けにても三百七十三萬圓有餘の節約をなし得るとすれば隨て物資の價格も低減される譯である、否な物資の價格のみならず、車賃も輕減されるのである、市民は道路の改善に依て年に三百七十三萬圓生活費を節約し得るのである、最近の調査によれば東京市の人口は二百五十萬人と稱されてゐるが、若し果して然りとすれば一人一圓以上の生活費を節減し得るを以て市民は道路改良のために多少の負擔を爲すも結局得る所は遙かに大なるものと言てよ。

道路の改善に依て直接市民の享受する利益は交通の混雑を防止し隨てそれより生ずる危険を豫防することが出来る、運輸機關の損失消耗を防ぐことも主なる利益であるが、市民の衣類の汚損を防ぐ利益の如き、或は新聞、雜誌、郵便等の配達上の時間を軽減せしめ集配を機敏ならしむるは固より衛生上の利益及び土地、家屋の價格を増加せしめ、直接間接市民の受くる利益は恐らく數字を以て指示し得ざるものであらう。

殊に今後世界の交通路が短縮され外人の本邦に遊覽或は事業上の視察を兼ねて來遊するもの益々多からんとする時、斯の道路改善に依て彼等に一段の満足を與ふることを得ば國家が間接に利することの大固より言を要せざる處である、然るに由來我が國民が道路問題に就て無關心の態あるは抑も封建時代の習慣之を然らしめたのである。

封建時代に於ては諸侯割據し、互に相嫉視したるを以て道路の如きは寧ろ不便なる

を以て自家の平安を圖る所以としたのである、然るに時代は一轉して茲に歐亞の兩大陸の間に介在し、彼我の文明を融和して帝國の新使命を行はんとするに際し、國民生活の向上に、文化の普及に一日も緩うすべからざる道路改良の急務たる今更暇々を要しないのである、歐州戰亂の熾和成り世界的交通の愈々繁からんとする今日に際し、吾人同志相謀り全國の有志を叫合し、道路改良會を起し、時世の進運に資せんとするものである、吾人が道路改善を叫ぶ所以は單に一外人の批評に驚きしが故に非ずして眞に我が國民の福祉の爲めなると、且つ國家百年の長計を慮るが爲めに外ならぬのである、國民たるもの願はくば茲に意を致し吾人の舉に賛同せられんことを望むものである。